

Pas ā pas

パザパ



特集

夫と妻 どこまでわかりあえるの？あえないの？ ～めったに口にしない「女のホンネ」～

P2～ **特集** インタビュー「夫と妻 どこまでわかりあえるの？あえないの？」

P7 寄稿「自分の気持ちを伝えなくては、相手の気持ちはもらえない」

P8 **起業・SOHO通信** オリーブ(Olive)

P9 **元気なグループ紹介** マミーズネットワーク清水

P10 **お知らせ** 静岡市男女共同参画行動計画を策定しました

P12 **男女共同参画の視点で選ぶ絵本**

特集

夫と妻 どこまでわかりあえるの？ あえないの？

めったに口にしない「女のホンネ」

もっとも身近で大切にしたい男女の関係—“夫と妻”。でも、全国で年間29万件(平成14年)の離婚が発生している現実。

「家庭内離婚」ということばもあり、よい関係を築いていくのもなかなか難しいようです。

前号の「男たちのホンネ」に引き続き、今回は、夫と妻がどれだけわかりあっているか、よい関係を築いていくために必要なことは何かについて、さまざまな立場の12人の女性にお話をうかがいました。



おおたに けいこ
大谷 恵子さん

国吉田在住 夫、中学2年(長男)との3人家族。フルタイムで働いています。

● 折り合い・我慢・愛情

若いうちは、思ったことをすべて言ってけんかをしながら、生活する中で、折り合いもつけ、やがて出来る方が家事を分担するようになりました。夫が家事をすることは、私や子どもに対する愛情、思いやりだと感じています。私は朝4時半に出かける時も、家族の食事は作ります。それを見て夫は、何も言わなくても掃除をしてくれます。そんな私たちの様子を見て子どもは洗濯物をたたむなど手伝いをしてくれます。

折り合いに必要な「我慢」は愛情に結びついていると思います。また、相手からの感謝が見えてくるのは自分次第だと思います。



やまだ
山田 しのぶさん

巴町在住 夫、息子(中学3年、小学5年)の4人家族。夫は現在、単身赴任中。専業主婦です。

● 夫とは“同士”のつながり

夫と妻は対等だから、問題解決は話し合っ、お互いの意見をとことんぶつけ合って解決策を見つけたい。夫は単身赴任中ですが、一緒にいるときには、お互いに要求や不満ばかりを言っていました。でも、地理的な距離ができたことで、お互いの状況をかえって理解できるようになりましたね。余裕が出たのだと思います。

子育てという共同作業をやり終えたとき、同士のよう感覚で、夫とのつながりを感じられたら良いと思います。

● 家族は「横」のつながり

家事は私の仕事だと思ってきましたが、夫の定年で、同じスタートラインに立っているような気がします。私たちには、共通の趣味と共通の友人があります。そこに行けば、夫でも妻でもなく、私も1個人間でいられます。

私たちは、家族は縦のつながりではなく、横のつながりだと考えてきました。夫だから、妻だからとか子どもだからという考えではないので、コンサートなども子どもが行きたくなければ二人で行きます。今では、他人には言えない悩みや体のことを相談するのも夫です。



らち のりこ
良知 紀子さん

瀬名在住 子どもは独立して、夫と2人暮らし。専業主婦です。

● 休日は 料理の家庭教師？

私は明るい性格ですが、反対に夫はもの静かで、まるで反対だからいいのかも知れません。お互いにくづり合うこともありませんから。

家庭のことも十分にできて、一生働き続けることができる仕事があったくて、ヘルスアドバイザー(真の健康づくり)、音楽表現体操など健康に関することを学んで資格をとり、今は将来性のある福祉ビジネスに取り組んでいます。夫も理解してくれていますよ。

夫が定年した後は、自分で食事の仕度もできるようになってほしいので、土・日曜日には特訓しています。



かとう せつこ
加藤 節子さん

鎌田在住 娘2人が独立して、夫と娘1人の3人家族。福祉ビジネスに挑戦しています。

● ありがとう! 任せるわ

姑の多大な協力を得ながらも、二人目の子どもを出産した頃、仕事と家事育児で手一杯な私。それにひきかえ帰宅後ゆっくりできる夫との差に疑問を感じました。そこで、朝起きてから寝るまでの仕事を書き出し、家事分担について話し合ったところ、朝のみそ汁作りを担当してくれたのです。時々喧嘩をしながらも、やってもらえるものを増やしていき、そのうち早く帰った方が料理をするようになり、今夫は楽しんで料理に挑戦しています。

「おいしい」「ありがとう」の言葉とともに「任せきる」ことなどが夫の参加を広げていったと思います。夫は退職したこともあって、家事だけでなく、介護も引き受けてくれていて、今とても感謝しています。



すずき まちこ
鈴木 真知子さん

清水東大曲町在住 息子1人、娘1人が独立して、夫と娘、夫の母親の4人家族。フルタイムで働いています。



語る方も、聞く方も熱がこもった



話しはじめたら、どうにももらない女のホンネ?



伏見 恵美さん

西脇在住 夫、娘(小学4年 1年)、夫の両親の6人家族です。パートタイムで働いています。

● どちらかが 背中を押す

お互い愛称で呼び合っています。私の不機嫌だと家の中の空気が重くなるので、朝のあいさつなど明るく大きな声を出すようにしています。家族だからこそ意識して「ありがとう」と言えば「助かるよ」という声が返ってきます。

私の話は夫がよく聞いてくれます。相談ごと、どちらかが迷っていればもう片方が背中を押すという感じで。夫は「大変なら無理しなくていいよ」と、私のことを尊重してくれます。楽しくやっていたいけるのも、そのおかげだと感謝しています。



吉川 弓子さん

有明町在住 夫と息子(小学6年)の3人家族。専業主婦です。

● 意見が違って も あたりまえ

夫は最終的なよりどころです。育児にも関わってくれるので助かっています。話好きですが、感謝やねぎらいの言葉は、お互いに下手なので、なるべく私から言うように心がけています。そうすれば相手も言葉をかけてくれるものと思って。

お互い違う人格だから、意見が違って当たり前。自分を主張することも大事だし、相手の意見を聞くことも大事。共通の趣味をもつなどして、一歩いっしょ、歩み寄っていきたくと思います。

● 温かい 空気のような存在

結婚退職をして出産育児と専業主婦時代は自分が置いてきぼりになっているような焦りを覚えました。そこで、パートとして働き始め、40才で正社員となり、今年で定年です。仕事が好きというより外に出ているほうが自分らしく生きられると思っています。夫は一昨年定年を迎え、今は彼自身のペースで過ごし、週末には掃除を担当してくれています。

私にとって夫は、温かく見守ってくれる、なくてはならない空気のような存在です。



佐藤 とし子さん

三番町在住 夫と娘と私の母親の4人家族。フルタイムで働いています。

● キャリア15年の“発展途上人”

子どもが生まれたら、基本的には母親が家にいて育てるという考えでお互いに一致していました。働いて家事などの手を抜きたくはないし、夫も仕事に忙しくて手伝うのは無理。

それなら、仕事をして貯めたお金で余分なものを買うより、生活の工夫をして丁寧に暮らしていけばいいと思っています。

家の中の問題も、一歩離れた目で冷静に意見を言ってくれます。結婚して15年。まだ発展途上なので、お互いに認め合い、感謝し合い、思い合って、いい家庭をつくっていけたら良いと思います。



鈴木 淳江さん

国吉田在住 夫と息子(中学2年)、娘(小学6年、小学2年)の5人家族。パートタイムで働いています。

夫たちへの伝言板

家事と仕事について“ひとこと”

- 家事は妻の仕事で、夫は手伝いのなの？
- 給料に差はあるとはいえ、同じだけ働いているのだから、家事も同じだけしてもいいんじゃない？
- ごはんを装うとか服をかけるとか、自分のことは自分でやってよ！
- 介護は女性に偏りがち。優しい言葉はかけてくれるが、何をしてもよいのかわからない夫。

子育てについて“ひとこと”

- 「お母さんが遅くなるから、洗濯物をたたんでおこう」など、夫の声かけは効果抜群！
- 夕方忙しいときになると、夫と子どもと2人で手伝いをする態勢に。チームワークよく、夫でも子どもでも対等な立場。
- 子どもが熱を出したとき、夫と妻でけんか。子どもはそのすきに学校へ行ってしまい、胸を痛めた。その後、子どもの前でけんかをしないように心がけている。

二人の関係について“ひとこと”

- 言葉ではっきりねぎらってほしいな。
- 相手を尊重して自分も我慢していたけれど、相手もそうだと知った。
- なんだかんだ言っても、頼りにしているし、甘えて生きている。
- 正論よりも感情的にわかってほしい。
- 「食事何にする？」「何でもいいよ」(思いやっているつもり)の夫の言葉。それじゃあ答えになっていない。疲れていても何か作らなくちゃ！
- 若かりし頃、真夜中に眠い夫をつかまえて、くっつくことが。



インタビューを終えて編集スタッフがつくった 対話のレシピ

- ① 「～してくれない」ではなく「～してくれると嬉しい」と頼む。
- ② すじみちを組み立てて話したり、紙に書いて伝える。
- ③ 昔のことを持ち出さず、相手の信念は尊重する。
- ④ 自分の要求だけを通さない。相手の気持ちも考えて、ときには引くことも大切。
- ⑤ 相手の気持ちにゆとりのあるとき、状況を見ながら話をする。



何か言い忘れたことはない？



やました ちえ
山下 千絵さん

西脇在住 夫と息子(小学1年)、夫の父と叔母の5人家族です。専業主婦。読み聞かせボランティアをしています。

● 自分におきかえてみる

小学1年生の息子はお父さんが大好き。男同士の間には入り込めないなと感じてしまいます。野球をしに行く二人に、誘われて一緒に行ったときは楽しかったので、歩み寄れば楽しいんだと感じました。

夫は仕事の大変さも私には話してくれます。同居や仕事などの生活環境が変わったときには、すごく助けられました。

夫に対して自分が要求し不満に思っていることは相手も同じだと思うので、自分におきかえて考えることも大事だと思っています。



さかもと きよこ
坂本 希世子さん

西脇在住 夫と息子(小学4年3歳児)の4人家族。フルタイムで働いています。

● グッと肩の力を抜いて

仕事から帰ってきても、台所に立つのは私で、夫はテレビを見ている。それがもともと最初の頃は喧嘩になりがち。「あれもこれもやって欲しい」と思うのも苦痛だったので「自分のできる範囲で家事をすればいいや」という考え方に変えてみました。冷静になって考えると私の苦手な片付けなどは夫がしてくれていることに気づき、素直に感謝できるようになりました。

同じ場所、同じ時間を共有することでホッと肩の力を抜いてつきあえる余裕ができたように感じています。キャンプに出かけるとお互いが協力しなければならぬので、相手の大切さを実感します。

● 1日30回の「ありがとう」

夫は朝起きるとお茶を入れてくれ、私が朝食の支度、夫が布団あげや洗濯や風呂洗いもやります。先日夫が骨折したとき、全部一人でやってみて、夫の有り難さがわかりました。私は「ありがとう、助かるよ。」を一日に20~30回言っていますが、夫はそれを励みに別のこともしてくれます。夫は母親に早く死なれ家事に抵抗のない人で、「家族だから当たり前」といいます。それが自慢。結婚して55年になりますが、互いに名前呼び合っています。



ふじひら のぶえ
藤平 信枝さん

清水下野町在住 子どもは独立して、夫と2人家族。公民館等で時々講師をしています。



最初は皆さん緊張気味でしたが次第に…



寄稿

自分の気持ちを伝えなくては、相手の気持ちはもらえない



女性会館相談室カウンセラー
大石佳代子

● 相手への伝え方も大事に

同じ事を伝えるにも、話す自分も気持ちよく、聞く相手も気持ちよく聞ける方がよいのではないのでしょうか。相手に何かを伝える時には、「自分が伝えたいことはどう伝わるか」を、自分の心の中で作り上げてから伝えるようにしたいですね。自分を大切にしなければ、相手にも伝わっていきません。

そして、重要な話をする時には、相手の気持ちにゆとりがある時など場面を選ぶことも大切です。



● 夫と妻のコミュニケーション能力が低下

核家族化で人間関係が狭くなる中、人と人のコミュニケーション能力が低下し、問題がおきると問題解決よりも相手を批判、攻撃してしまうことが多いようです。また、従来の「男らしさ」「女らしさ」とらわれた生き方をしていることで、問題にきちんと向き合えずに、価値観の違いに気がつかないことがあります。「自分の気持ちを伝えなくては相手の気持ちはもらえない」ということを知ってほしいと思います。

● まずは自分を尊重することから

夫と妻が良い関係を築くためには、お互いに尊重しあうことが大切ですが、その前に自分を尊重することが不可欠です。自分を大切にできれば、相手も尊重でき、逆に自分を大事にできないと自分や相手の欠点ばかりを探して攻めることになってしまいます。

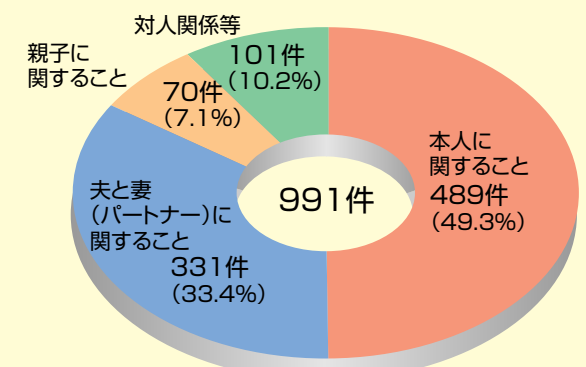
夫と妻の間では、相手と向き合い、葛藤して、折り合いをつけて、これを相手に伝える。このプロセスを踏むことがより良いコミュニケーションにつながっていきます。自分の気持ちを整理して相手と向き合うことで、自分の意思を尊重しながら、折り合いをつけることができます。そして、折り合いをつけたことを言葉で相手に伝えることで、相手がこちらの気持ちを理解し、お互いに尊重しあうことができるのではないのでしょうか。

● 直面している問題に向き合って

夫と妻で双方の立場や考え方、人間性を理解し合いながら、「どのような家庭を築いていきたいか」を検証し、自分の人生を振り返って、「これからの人生をどのように生きていくか」を話し合っていきたいものです。

そして、各年代に応じて抱える問題は異なりますので、お互いに今直面している問題に向き合い、解決にむけて一生懸命かかわり、上手にコミュニケーションをとることで、よいパートナーシップを築いてもらいたいと思います。

静岡市女性会館相談室 カウンセリング内容の内訳(平成15年度2月末)



自分と向き合う場・機会としてご利用下さい。
静岡市女性会館・相談室(アイセル21 東草深町)
受付 火~土曜日(10:00-16:00)
TEL 054-248-1234(事務予約制・無料)

No.2 起業・SOHO通信

※SOHO…Small Office Home Officeの略で社員が
数人の小規模事務所や自宅を事務所にする
在宅勤務者などの総称

レオタード専門ネットショップ オリーブ(Olive)



レオタード専門のネットショップ「オリーブ」を開店した柴田弘美さんに話をうかがいました。

起業のきっかけは娘の新体操

娘が新体操を習っていますが、競技用レオタード等は非常に値段が高いのです。あちこち探しているうちに、海外にはデザイン的に優れていて、しかも手頃な値段の商品が揃っていることに気づき、「新体操を習わせているお母さんも欲しいはず」とネットショップを漠然と考えはじめました。そこで、静岡市の創業支援セミナーに参加し、さらに、SOHOビジネスプランコンテストにも応募。セミナーでレオタードをネット販売する際の具体的なプランを考えたり、セミナーが縁で知り合ったSOHO@しずおかの方々に応援していただいたりしたことが開業の後押しになりました。

海外からレオタードを輸入販売

今はデザインが優れ、値段が手頃な輸入レオタードをインターネットで販売する仕事をしています。新体操用の商品が中心で、希望者には購入前にサンプルを実際に見て確認してもらっていますし、競技などで一度使用したりサイクルレオタードの販売もしています。

ネットショップの運営は普段の日には2時間程度しか取れませんので、商品の発送業務とメール送信のみを行い、土・日曜日にホームページの更新作業等をまとめてやっています。

ネットショップも結局は人間対人間のビジネスなので、顧客を大切に、誠意を持って接しています。商品に対しての質問にも顧客が納得いくまで丁寧に応じるようにしていますし、トラブルがあったときには、特に試される時です。



ホームページを見た人からの問い合わせ電話に応じる



扱っているレオタード例

ネットワークをいかして

これから起業を考えている皆さんは、お金をかけないで、とにかくチャレンジし、始めたからには3年間は挑戦しつづけることが大事だと思います。

そのためにはネットワークをもつことが大切。1人でやっていると、注文がない時など落ち込みますが、他の人がイキキやっている様子を見ると「がんばろう!」という気持ちになります。SOHO@しずおかの方々には精神面だけではなく、カタログやDM等の具体的な相談にも応じていただいています。

将来は法人化したい

開業して1年が経過し、仕事の流れがわかってきましたので、今後は、レオタードの飾りに使うストーン、スパンコールなどの商品の展開、また、オリジナルのレオタードにも手を広げたいと思います。また、街でも着られるようなデザインのダンスウェアや新体操をしている子特有の「オリーブ体型」の少女のための商品も扱っていき、将来的には法人化して、人に任せられることは任せて、自分はどんどん新しいことに挑戦していきたいと考えています。

シリーズ 元気なグループ紹介 No.2

子どもが小さい“今”だからこそできることを… マミーズネットワーク清水

静岡市清水地域で活動している子育てサークルが情報交換やサークル運営上の悩みを相互に支えあいたい。そんな想いから1999年5月に結成されました。現在11サークル20名が参加。主にメンバーは赤ちゃんや幼児連れのまさに子育て真っ最中のママです。



～メンバーは子育て中のママ。悩んだり、迷ったり、笑ったり…～

子育てって楽しいけど不安も多い…

同じ悩みを持つママたちが集まって情報交換したり、手遊びをしたり、工作・読み聞かせをする子育てサークルが誕生するのは自然なこと。

でも一つのサークルではできないこともあります。社会にはたらきかける活動はネットワークだからこそできるのです。

ママの視点で子育てママをバックアップ

昨年度は乳幼児連れの家族を対象とした工作や手作りゲームで楽しむ「こども交流まつり」を行いました。3回目を迎えたこのイベントでは、異年齢児交流をテーマに清水地域の小中学生のボランティアを募り、乳幼児と遊びながら子育ての疑似体験や小さな命の大切さを感じてもらいました。この他、子連れのミニクラシックコンサートや県外出身ママを集めたイベントを開催しました。家に閉じこもっているママが外に出るきっかけになればと子育てママの視点で企画しました。



～子育てサークルが集まって「こども交流まつり」を開催～



子育ての情報発信!

一般に子育て情報はいっぱいありますが、なかなかないのが地元密着の子育て情報。そこでメンバーの有志で「ちっかりんぶれす」という情報誌を発行。赤ちゃん広場や子育てトークの会、新しい公園からチャイルドサッカーの紹介までママ達の口コミ情報をもとに取材しています。子育て支援センターや清水保健センターに置いてありますので、見つけたら手にとってみてくださいね(ホームページでも内容を見ることができます。)

ママの笑顔☺が子ども達の栄養

子連れでいろんなことにチャレンジしているメンバーでも子育てに迷ったり怒ったり連続。でも、ポジティブな仲間達に会えば明日の子育てもガンバローって思えるもの。これからもママの笑顔があふれることを考えていきたいと思っています。いっぱい未来が詰まった子ども達を育てている私達だからこそ…。

連絡先

代表 芝田由起子 090-6586-1036
ホームページ: <http://kiddy.jp/mamnet/>
会員募集中 年会費1000円 個人での参加可

レオタード専門ネットショップ オリーブ
ホームページ <http://www.e-olive.biz/>
E-mail info@e-olive.biz

SOHO@しずおか
TEL 054-653-8800 / FAX054-653-8801
ホームページ <http://www.soho-shizuoka.gr.jp/>
E-mail info@soho-shizuoka.gr.jp

静岡県男女共同参画行動計画を策定しました

静岡県男女共同参画推進条例に基づき、関係する施策を市・市民・事業者が協力して総合的かつ計画的に推進するために行動計画を策定しました。内容については公募委員を含む「静岡県男女共同参画審議会」の答申(審議5回、中間報告に対する「市民意見を聴く会」の開催等による市民意見173件の意見・要望を反映)をもとに検討を進めました。

この計画では、市民の皆さまから要望が高く、緊急性がある3項目に、「市民との協働による男女共同参画推進体制」の構築を加え、その4つを5か年の重点施策としました。市民・事業者の皆さまと市が一体となり、計画の推進に積極的に取り組んでいくことが望まれます。

基本理念(条例より)

- 1 男女の人権の尊重
- 2 社会における制度又は慣行についての配慮
- 3 政策等の立案及び決定における共同参画の機会の確保
- 4 家庭生活と職業生活その他の社会における活動の両立
- 5 世界的視野の下での男女共同参画
- 6 男女の互いの性の尊重と生涯にわたる健康への配慮

基本的施策

- 1 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し
- 2 男女の人権を尊重する教育や学習の充実と意識改革
- 3 政策・方針決定の場への女性の参画拡大
- 4 地域における男女共同参画の推進
- 5 労働の場における男女共同参画の確立
- 6 家庭生活と職業生活その他の社会における活動の両立
- 7 世界的視野のもとでの地域社会の一員としての活動支援
- 8 女性に対する暴力の根絶
- 9 生涯を通じた男女の健康支援

5か年の重点施策



- 1 **家庭生活とその他の活動の両立支援**
 - 就業の場における男女共同参画の推進
 - ・事業者に対する男女共同参画推進の広報・情報提供
 - ・育児休業、介護休業等両立支援制度の導入促進 など
 - 両立しやすい環境づくり
 - ・保育所等の整備／放課後児童施策の充実
 - ・介護に関するサービスの充実 など
- 2 **政策方針決定への女性の参画推進**
 - ・2008年度までに、審議会委員に女性を30%登用
 - ・女性人材リストの整備 など
- 3 **女性に対する暴力の根絶に向けた取り組み**
 - ・暴力に関する実態調査の実施と支援策の検討
 - ・婦人相談員による女性相談・保護の充実
 - ・庁内連絡会の設置と他機関との連携
- 4 **市民との協働による男女共同参画の推進体制**
 - 男女共同参画推進拠点の機能充実
 - ・各種事業の充実と対象別啓発プログラムの開発
 - ・市民等との協働による事業の企画や実施
 - ・相談機能の充実 など
 - 市民との協働による男女共同参画推進評価の実施

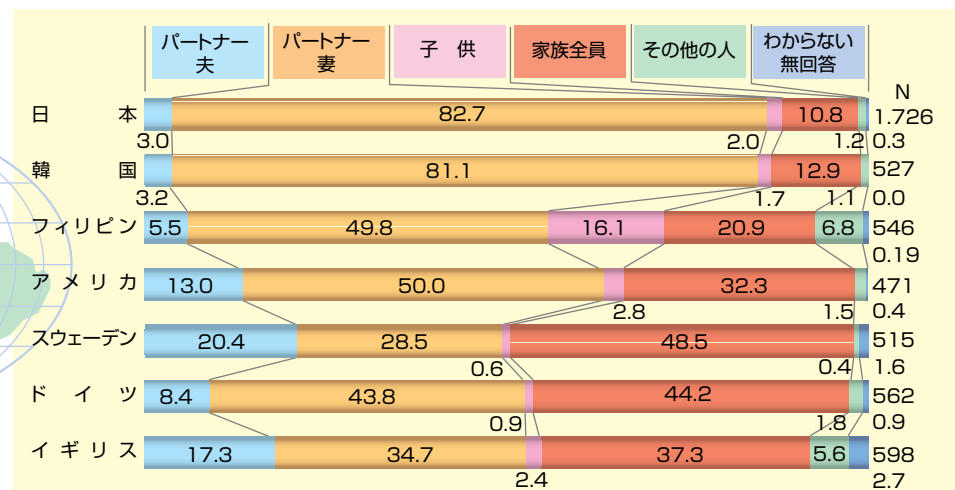
トピックス スウェーデンでは約半数の家庭が「家事は家族全員で負担」

2003年に内閣府が日本、韓国、フィリピン、アメリカ、スウェーデン、ドイツ、イギリスの7か国の男女を対象に実施した「男女共同参画社会に関する国際比較調査」の結果です。

家事分担について、掃除、食事のしたく等についての家事分担を誰が主に行うかについては、フィリピン、アメリカ、スウェーデン、ドイツ、イギリスの5か国では「妻・パートナー」の比重が多いものの、「家族全員」で行うとの回答が多く、妻の家事負担率が低くなっています。これに対し、日本及び韓国においては、「妻・パートナー」だけに集中し、実態は20年前と変わらず、「家族全員」で行うと回答した人の割合は、他の5か国と比べて低くなっています。

スウェーデン、ドイツなどでは、子どもを含めた家族みんながともに対等なパートナーとして尊重しあい協力しあい、家事を負担している様子がうかがえます。

家事分担(食事の後片付け、食器洗い)



何の数字!?

9位と44位

2003年に国連開発計画(UNDP)が発表した「人間開発報告書」によると、日本は人間開発指数(HDI)が測定可能な175か国中9位と高い能力を示しています。一方でジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)は測定可能な70か国中44位と2002年の32位から後退しHDIの順位に比較して大きく落ち込んでいます。これは日本の女性は潜在的に大きな能力を持ちながら、その能力を十分に発揮していないことを示しています。このことから、国をはじめ、全国の自治体において、女性の政策方針決定過程への参画の推進についての取り組みが行われています。

国連開発計画(UNDP)

人類の進歩を図るためGNP(国民総生産) 一国の一定期間中に国民が生産した財やサービスの価値観の合計)に変わる新しい指標として人間開発に関するHDI、GEMなどの指標づくり、世界各国の状況分析、順位づけをしている。

●人間開発に関する指標の国際比較
●HDI:人間開発指数 ●GEM:ジェンダー・エンパワーメント指数 (Human Development Index) (Gender Empowerment Measure)

順位	国名	HDI値	順位	国名	GEM値
1	ノルウェー	0.944	1	アイスランド	0.847
2	アイスランド	0.942	2	ノルウェー	0.837
3	スウェーデン	0.941	3	スウェーデン	0.831
4	オーストラリア	0.939	4	デンマーク	0.825
5	オランダ	0.938	5	フィンランド	0.801
6	ベルギー	0.937	6	オランダ	0.794
7	米 国	0.937	7	オーストリア	0.782
8	カナダ	0.937	8	ドイツ	0.776
9	日本	0.932	9	カナダ	0.771
10	スイス	0.932	10	米 国	0.760
11	デンマーク	0.930	11	オーストラリア	0.754
12	アイルランド	0.930	12	ニュージーランド	0.750

HDI順位は175か国中の順位 GEM順位は70か国中の順位

41	エストニア	0.833	41	ハンガリー	0.518
42	コスタリカ	0.832	42	メキシコ	0.516
43	チリ	0.831	43	ウルグアイ	0.516
44	カタール	0.826	44	日本	0.515
45	リトアニア	0.824	45	マレーシア	0.503
46	クウェート	0.820	46	コロンビア	0.501
47	クアチア	0.818	47	ベリーズ	0.501

人間開発指数(HDI)

基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを図るもので、平均寿命、教育水準、国民所得を用いて算出。

ジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)

女性が積極的に経済界や政治生活に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るもので、女性の所得のほか、専門職・技術職・管理職および国会議員に占める女性の割合を用いて算出。

シリーズ 男女共同参画の視点で選ぶ絵本

No.2

絵本には人が生きていく上で大切なあらゆることが、最もわかりやすい言葉と絵で描かれています。子どもたちに、夢、安らぎ、勇気を与え、生きる力、世の中を肯定する前向きな考え方をさりげなく示してくれるのが絵本です。



現実の生活で体験できることは限られていますが、絵本の中には、多様な人生のモデルがいっぱいあります。今回は、『きょうだい』というキーワードで選んでみました。最も身近にいて、お互いに影響しあえる『きょうだい』のよさが楽しめる2冊です。



くさがや けいこ
草谷 桂子
家庭文庫「トモエ文庫」主宰

男女共同参画社会へ一歩近づぐための情報誌
Pas ā pas
パザパ

『おてんばシーラ』

シーラとルイズは、ねずみの姉妹です。弱虫のルイズは、お姉さんのシーラがうらやましくてなりません。シーラは、暗やみ、かみなり、大きな犬、いじめっこ、何でもヘッチャラで、怖いものなし。自転車の手離し運転も、目をつぶったままで後ろ歩きもできる元気いっぱい女の子です。

ある日、姉妹は学校の帰りに違う道を通って、迷子になってしまいます。いつもはどんな難関もクリアする尊敬の的のお姉さんなのに、なんと泣き出してしま

ました。そこでルイズの出番です。途端にはりきったルイズは、いつもの弱虫じゃありません。悪者退治も、目をつぶったままの後ろ歩きも、ちゃんとやってお姉さんを守り、ぶじ家に帰ります。やれば出来るものですね。そのはずです。いつも「お姉さん」という見本をしっかり見ていたのだからー。

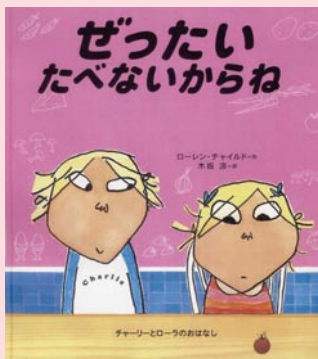
影響しあって、のびのび成長する姉妹が、微笑ましく描かれています。

K・ヘンクス作・絵 斉藤美加訳
金の星社 1990年
(静岡中央、追手町、南部、北部、
藁科、西奈、長田図書館所蔵)



『ぜったいたべないからね』

ローレン・チャイルド作 木坂涼訳
フレーベル館 2002年
(アイセル21図書コーナー、
静岡中央、清水中央、追手町、
南部、藁科図書館所蔵)



チャーリーは、外出する両親から妹ローラのめんどうをみるよう頼まれます。彼にとって、決して楽な仕事ではありません。なぜって、ローラは好き嫌いが激しく、食事を食べてくれません。そこで、チャーリーは食べさせるための作戦を開始しました。それは、嫌いな食べ物を、とんでもない名前と呼んじょうこと。例えば、にんじんは「えだみかん」で、まめは「あめだまみどり」で、じゃがいもは「くもぐちゃらん」で、さかなのフライは「ころもうみ」というぐあいです。名前が変わ

ただで、なんだか「べつの物」になったようです。ローラは苦手な食べ物を次々に口にしました。ついに、あんなに嫌いだったトマトまで！ しかも、トマトを「まんげつぶちゅっと」と名づけたのはローラでした。

ダイナミックな絵に、表情豊かな自立した兄妹の、愉快的日常生活がしのべられます。

それにしても、妹のめんどうを兄にまかせて、両親はどこに行ったのでしょうか。パーティ？ 映画？ それとも音楽会？ 夫と妻の時間も大切にアメリカらしい背景です。

発行／静岡市企画部男女共同参画課
企画編集／市民編集スタッフ 石光夫美子・大橋寧二・佐藤弘恵・堀川美紀子・吉田充代
〒420-8602 静岡市追手町5番1号 ☎054-221-1349

http://www.city.shizuoka.shizuoka.jp/
e-mail:sankaku@city.shizuoka.shizuoka.jp